

New N o g a t a

2023、8、24

直方ミニバスケットボールクラブだより

共育コラム

新しい風、新たな時代



高校野球の全国大会、優勝は慶応高校でしたね。決勝は、仙台育英 VS 慶応。私以上にチーム事情に詳しい方もおられると思いますが、報道されている情報の範囲でも、今回の仙台育英との決勝、慶応の優勝、この両チームの躍進は、これまでの部活動、高校野球を変えられていると言われていますね。具体は、ニュースで報道されている通りです。一つ例を挙げれば「エンジョイ・ベースボール」。これは単にレクリエーション的な楽しさを言っているのではなく、子ども自身が自分で考え、自分たちで決めて活動をつくっていくことの楽しさが表現されているものです。決して楽しんで勝ち取った優勝ではない、そのことは慶応主将のインタビューのことばにあらわれていましたね。

さんざん大きなことを言ってきて、笑われることも、いろいろ言われることもあったんですけど、それに耐えて、そういう人を見返して、『自分たちが絶対日本一になってやるんだ』っていう強い思いで頑張ってきたので、その辛い思いとかが全部、報われたなあっていう瞬間でした」

これまでのように、監督に押しつけられ、決められたものを、言われるがままにただこなす、などという活動ではなくなっています。子ども自身が、こうなりたい、こうしたい、そのために、これだけのことをがんばる、と子ども自身がその気になってがんばることで、きついトレーニングもえがおでがんばっていくことができるということです。

今それは、野球界だけでなく、サッカー、バスケット、バレーなど、各界各種目で同様の動きが出始めています。ようやく旧態依然とした活動のあり方が見直され始めています。私も含む多くのおとなが過去経験してきたような部活動のあり方ではなく、子ども主体の新たなクラブ・チーム活動が進み始めています。新しい風が吹き始めてきたと受けとめています。「教育リーグ」を立ち上げ、新たな活動にふみ出している私たちとしても、この流れは大歓迎です。

子どもたちとともに今大会をふりかえり、反省点（課題）を共有し、あらためて、これからの自分（たち）を考え、次のステップに進みます。どんな自分になりたい？

どんなチームになりたい？ そのためにどうしたい？ どうする？